

第5回孤独・孤立対策の在り方に関する有識者会議に関する意見について

大阪公立大学 山野則子

実態把握を今回の提案で10代にフォーカスすること、また、今回の世論調査から分かるように、教育機能を使ってすべての人に孤立・孤独に関して、その実態や意味を伝えていくことは、これまでの有識者会議でも、ずっと申してきたことであり、非常に重要だと考えております。

今後の取組に期待したいですし、申し上げてきた意見については、エビデンスと実装研究に基づいております。是非、今後議論したいと考えております。

ちょうど孤立孤独の研究の成果報告会を開催しますので、お時間許せば是非ご参加あるいは周りへのご案内をお願いします。

<https://www.oma.ac.jp/orp/ries-ssw/info/news1/entry-101706.html>